

## ごあいさつ

6月30日に開催された株式会社日本商品清算機構の株主総会および取締役会にて代表取締役社長に選任されました高橋英樹です。当社の発展はもとより、商品先物業界、市場の隆盛のため全力で取り組む所存でありますので、どうぞよろしく願い申し上げます。

ご承知のように今日の我が国商品先物市場は未曾有ともいうべき危機に瀕しております。その原因はさまざまなが考えられますが、今求められているのは、すべての市場関係者がこの難局を打開するべく、共通の目標に向けてその知恵と力を結集することであると強く思っております。当機構といたしましても、カウンターパーティリスクの遮断、決済業務の効率化など、市場の信頼性、効率性を高めるために果たすべき責務を十分自覚し、世界に冠たる先物市場の構築に向け関係の皆様とともに力を尽くしていく所存であります。

さて、当機構の当面の経営課題は、先般決定した中期経営計画に記されているとおり、自立的かつ強力な経営基盤の確立、国際的に見て高い信用力の確保、新たな事業展開と清算参加者等にとっての利便性の向上の3点に集約され、それらの実現のための様々な改革の迅速かつ着実な実行こそが私に課せられた最大の任務であると考えております。

中でも緊急に取り組んでいくべき課題として次の事項を挙げておきたいと思っております。すなわち、第一にいわゆるスパン証拠金の迅速かつ円滑な導入、第二に新たな清算参加者資格の着実な適用、第三に当機構の財務基盤強化のための計画の策定です。

まず、いわゆるスパン証拠金については、できるだけ簡素でわかりやすい制度とし、また関係者の負担を極力抑制することを基本として、取引所、清算参加者の皆様と十分相談しながら最適な導入方策を見出していきたいと考えております。次に、新たな清算参加者資格は平成21年10月から完全適用される運びとなっておりますが、この移行を着実かつ円滑に行うとともにその状況を十分フォローしていくこととしております。さらに、当機構の財務基盤強化につきましては、クリアリング機能の信頼性の根幹に関わる課題として、清算手数料水準、自己資本の規模、違約対策財源のあり方など様々な事項を総合的に検討して適切な方向性を導き出したいと思っております。以上に加えて、リスク管理体制・機能の強化、OTCクリアリング・ビジネス展開の探究などの重要課題にも鋭意取り組んでまいります。

これらの業務課題の遂行に当たっては、当機構役職員の渾身の努力が不可欠なことは勿論であります。我が国商品先物市場を共に担う関係の皆様との共通の認識と協力関係なくしてはその成果は期し得ないことが明らかであります。私といたしましても皆様

のお声に十分耳を傾け、そのかじ取りを誤らないよう細心の注意を払ってまいりたいと考えておりますので、忌憚のないご指導ご鞭撻をいただきたいと存じます。

最後になりますが、力強く活力あふれる商品先物市場の再生を期するとともに、皆様のご繁栄をお祈り申しあげまして、私の就任のごあいさつとさせていただきます。

平成 21 年 6 月 30 日

株式会社 日本商品清算機構

代表取締役社長 高橋 英樹